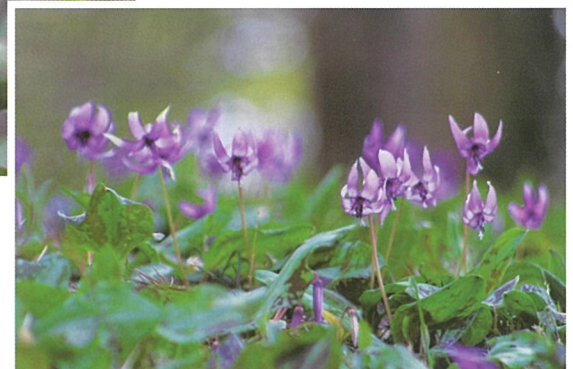




## カタクリの花

柏市指定文化財  
(天然記念物)



2019年3月27日撮影 市内逆井の群生地で。

## シルバーの“顔”



(詳細は5頁)

勝野悠里子会員 (アミュゼ柏の入り口で)

- ▽ もくじ ▽
- 2頁・**特集**安全について
  - 3頁・地域班地区長会議、会員研修  
入会説明会、女性会員交流会ほか
  - 4頁・講習会あれこれ(接遇力向上研修、  
植木座学、運動機能測定)  
じよぶコラム
  - 5頁・柏市生涯現役促進協議会セミナー  
シルバーの“顔”
  - 6頁・みんなの写真館(柏ゆずりは会ホウ  
リング大会、柏西地区、土地区)  
中高年英語しゃべり隊ほか
  - 7頁・みんなの写真館(柏西地区、柏東地  
区、富勢地区) スタパ相談会ほか
  - 8頁・事務局だより  
編集後記

☆ 2019年度柏市シルバー人材センター安全標語最優秀賞作品 ☆

# もう一度初心に戻って 安全確認

# 特集 安全について



当センターには安全委員会があり、会員の皆さんの就業に関する安全管理を推進しています。これまで同委員会では発生事故の分析・検討、安全パトロール、さらに安全研修を開催するなど力を入れてきました。昨今、職種の増加や会員の高齢化等もあり発生事故も変化してきています。改めて「安全」についてまとめてみました。



安全委員会委員長  
倉林 博孝

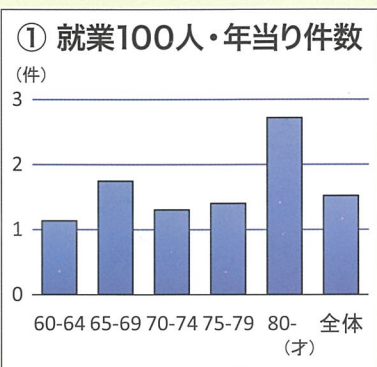
## 余裕を持って行動と確認を

平素から各職場で各地域で、安全への積極的な活動・実践に感謝いたします。皆様の安全意識の徹底が効を奏し、就業中の事故は、一時に比べ削減傾向にありま

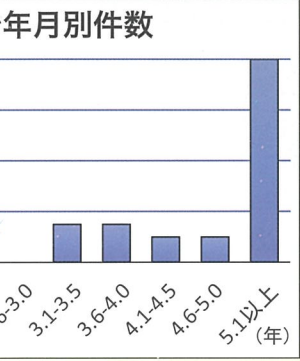
す。しかし一方、増加傾向にあるのが通勤途上での事故で、なかでも特に、転倒が目立ちます。余裕を持った行動、そして今一つの確認、これこそ是非お願い致します。安全委員会と致しましても、各パトロールの強化そして安全研修の中断ない開催など、各施策を実行して参りますので、今後ともよろしくお

お願い申し上げます。

❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀  
●**周囲に危険が潜んでいる**  
❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀  
〜危険を予知しよう！〜

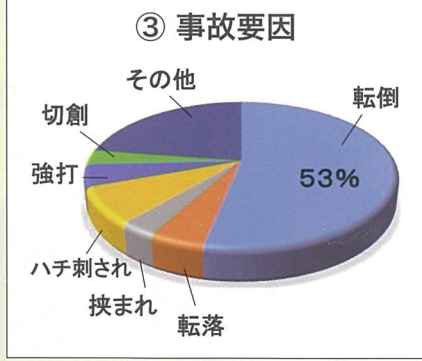


(1)どの位事故が発生しているか？  
約3年間平均で、就業会員100人当り、1年に1.5件発生しています。グラフ①は、年齢別の発生件数です。特に80才以上が高い値



(2)どのような会員に事故が多いか？  
就業開始後1年半以下の会員の事故が全体の44%を占めています。グラフ②は、就業開始後の期間別発生件数です。

(3)どのような事故が多いか？  
グラフ③は、過去3年間に発生した事故で、転倒が約半数を占め、転落やハチ刺されも多く、見られます。傷害事故に合わないためには、今までの経験と知識を活かし危険を予知し、確



認の実行が重要です。また、特に80才以上と就業開始1年半以下の会員には、安全研修の受講をお勧めします。

❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀  
●**第5回安全研修**  
❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀  
安全委員会主催の第5回目の安全研修が2月19日(火)当センター会議室で行われ、植木・駐輪場管理・清掃などに就業している11名の会員が参加しました。

倉林委員長のオリエンテーションの後、日野副委員長を講師に研修が行われました。指差呼称のビデオを観賞し、テキスト「危険予知訓練(KYT)」に従い、



進められました。「災害は沢山の原因が重なって起きる。原因と対策を分析し今後の行動をどう改善していくか」について、2班に分かれ「あなたは就業場所から自転車帰宅しています」を例に、そこにどんな危険が潜んでいるか危険予知訓練レポートをまとめ発表しました。参加者は「就業中の危険への認識不足を実感した」、「危険を意識して行動する良い機会になった」と感想を述べました。

# 地域班地区長会議開催 2019 年度事業計画案と報告



平成 30 年度第 2 回の地域班地区長会議が 3 月 6 日(水) センター会議室で開催され、7 地区の地区長、理事ら 18 人が出席しました。月川会長は挨拶で「豊四季班の会議に参加し、感謝の気持ちと挨拶の大切さを大事にしているという話を聞き、こういう会員にセンターは支えられていると思う。さらに盛り上げてほしい」と述べました。議題は 2019 年度の事業計画(案)、報告は① 30 年度事故発生状況(倉林理事) ② 運動機能・認知機能測定実施(高橋理事) ③ 女性会

員交流会実施結果(越戸理事) ④ シルバー学び隊事業 ⑤ シルバーサロン計画 ⑥ 地域班活動の順に討議されました。各地区長からは、近隣センターの設置希望や、継続して接遇研修の開催、班会議に気軽に参加できる仕組み作り、女性会員の拡大について、シルバーだよりの速報性等、さまざまな意見がでました。

## ● 会員研修

新入会員の研修会が 2 月 25 日(月)、センター会議室で開催され 19 人が出席しました。



講師は越戸理事。入会テキストのポイントを説明し地域班への参加促進、家事援助などへの協力も話しました。最後に接遇 DVD を視聴、明るく元気に就業し、笑顔での挨拶を忘れないようにと締めくくりました。

## ● 入会説明会

2 月 5 日(火)に入会説明会がセンター会議室で開催され、22 名が参加。月川会長挨拶の後、センターの紹介 DVD を視聴し、松田職員がセンターの概要を説明。羽取ジョブコーディネーターが就業状況を述べた後、個別面談を実施、21 名が入会しました。また 3 月の 2 回の説明会では計 35 名が入会。



## ● 女性入会説明会

3 月 8 日(木)、パレット柏で、女性のための入会説明会が開催され、女性会員 18 名が参加。和田職員がセンターの概要を説明、田口ジョブコーディネーター(写真左)が女性向けの就業に関する詳しく説明しました。個別面談の結果 8 名が入会しました。



田口ジョブコーディネーター(写真左)が女性向けの就業に関する詳しく説明しました。個別面談の結果 8 名が入会しました。

## 女性会員交流会 2 地区で開く

女性会員の  
元気に期待!

### 土地区

女性会員交流会が 12 月 3 日(月)、増尾リフレッシュクラブで開かれ、土地区の女性会員 4 名と関係者の計 13 名が参加しました。自己紹介では、麗澤大学の厨房で働く会員からは「大変だが若い方との交流もあり働きたいがある」、や「今仕事は休んでいるが、柏ゆずりは会のお手伝いをしてい」など就業の感想やセンターとの関わり、趣味の話など、伺い有意義な時間を過ごしました。



月川会長を囲んで、和やかに懇談

### 活発に意見交換しました!



参加会員と女性部会の役員たち

### 大井・大津ヶ丘地区 & 高柳地区

女性会員交流会が 2 月 26 日(火)、沼南近隣センターで開催され、大井・大津ヶ丘地区と高柳地区の女性会員 5 名と関係者の計 14 名が参加しました。スパーのお総菜部門で働く会員は「就業することで友達もできメタボ解消にも役立つ」と道の駅しようなんの掃除を 6 人で楽しくやっているなど、他に趣味もライフワークも楽しんでる様子を話しました。センターへの要望にも活発な意見が出され盛んなやり取りがありました。また、こういう女性の会をしてほしいとの要望もありました。

講習会あれこれ

接遇力向上研修  
— 公共施設管理 —



講師の宮沢知繁氏

2月18日(月)、センター会議室で、市内23の近隣センターに就業している会員(122名)の代表の連絡係30名が参加し「接遇力向上研修」が行われました。講師は全国のシルバー人材センターで10年以上苦情対応研修に係わり、講義がわかりやすいと定評のある合同会社アップグロス代表の宮沢知繁氏。

に苦情の要因と事例、苦情対応の基本(苦情対応の心構え・苦情発生時の要因・苦情対応の手順と方法・ご要望にお応えできない場合の処理)、情報管理の徹底(個人情報・気を付けなければならぬこと)、ハラスメントについても学び、トラブル事例についてグループ討議を行いました。会員は宮沢氏のウイットに富んだ講話に引き込まれ、挨拶することの大切さや笑顔、気遣いがいかに大切かを学びました。最後に小城市務局長から「地域の拠点施設として、一番身近の行政最前線で働く皆様には、ご苦労が多いと思う。このところ事故が発生することが増加、いろいろな方がいるので、これに前に事務局へ相談を」など現状とお話ししました。

植木座学

2月13日(火)、センター会議室で森哲太郎会員(樹木医・一級造園技能士)による「庭木の仕立てと剪定」の講習が行われました。植木座の会員はじめ剪定に興味のある会員54名が参加。画面とテキストに沿って進められ、「安全は何より優先」に始まり、身近な庭の樹木の見せ方、手入れ方法、作庭技法、幹や枝の構造と切り方などの順に述べ、作業の3要素として①樹冠を整える②濃淡を整える③枝ぶりを整えることを説明。樹木の性質、芽の成長や樹冠維持するための刈込例などきめ細かい事例を取り上げました。植木の仕立てと剪定の世界は奥深く、知るほどに尽きない興味湧いてくることを感じた講義でした。参加者は「庭の手入れや盆栽をしていますごく参考になりました。次回が楽しみです」



講師の森会員



じょぶコラム⑪

早いものでジョブコーディネーター(以下JC)になって4年近くが経ってしまった。多くの会員さん、事業者との出会いがあり、いろいろな仕事の仲立ちをしてきて、少しは双方のお役に立てていれば幸いかなと思う。始めの2年くらいは派遣の仕事が中心で、とにかく新しい事業者の、新しい仕事の開発に取り組んで四苦八苦。その後は旧開拓員と一緒にJCとして再編成され、北部の担当となつてからは請負の仕事が多くを占めるようになった。会員の居住地と仕事の需要のある地域は一致しないことも多く、仕事の紹介をしようにも通勤に時間がかかる、交通費が出ないなど何とも歯がゆい状況。会員さんはそのキャリアも人材センターに望まれている事も十人十色、百人百様なので、もっと仕事の幅を広げなければと思っているのに、逆に事業者からのニーズは清掃などに偏ってきており、これも何とかしたい課題となっている。(北部担当・隅田)

運動機能測定



ファイブ・コグとロコモ度測定

1月21日(月)、75歳以上の会員対象の認知機能・運動機能測定がセンター会議室で午前・午後に行われ、計88名が参加しました。自らの健康状態を知り日常生活の中に生かすのが目的。最初に認知機能検査のファイブ・コグ(記憶、注意、言語、視空間、思考の各機能の検査)、次にロコモ度(ツーステップ、立ち上がり、反射、握力)の各テストを実施。結果は各自に郵送されました。協力: 様々な色

● 定年退職予定者向けの  
応援セミナー開く

柏市生涯現役促進協議会  
主催、当センター共催の「生

涯現役定年退職予定者セ  
ミナー」が1月23日(水)、東  
大柏キャンパス総合研究棟  
で開かれ、73名が参加しま  
した。基調講演として深津  
紘氏による「ハッピー定  
年！」〜自分らしく生きる  
チャンス到来〜が行われ、  
その後、グループブリーチ  
ングが行われました。

隅田ジョブコーディネー  
(写真左上) がセンターの  
概要や様々な働き方につい  
て説明したほか、先輩体験  
談として、同協議会の二瓶

氏の司会で行われたパネル  
ディスカッションに安西  
ジョブコーディネー (写真  
左下中央) が参加しました。  
現在の仕事に就いた経緯や

趣味について話しました。  
このほか各団体からの情報  
提供、求人案内などが行  
われました。

● 生涯現役セミナー

日野副会長が就労体験談

柏市生涯現役促進協議会  
主催、当センター共催の「生  
涯現役セミナー」が、3月  
8日(金)東大柏キャンパス総  
合研究棟で行われ、62名が  
参加。キャリアコンサルタント  
清水めぐみ氏の講演  
「元氣・やる気・意欲を持  
つには」、グループブリーチ  
ング、シニア就労の体験談、  
事業者からの求人情報提供  
などがありました。

就労体験談に、当セン  
ターの日野副会長(写真左  
)が参加、5年に渡った近隣  
センターの就労体験を説  
明、この仕事に就いたこと

で地域社会  
に溶け込む  
実感が持て  
たと話し、  
センターの  
紹介も述べ  
ました。



表紙  
シルバリの“顔”



勝野  
悠里子会員

家事援助に従事

勝野悠里子会員は、柏市  
のさわやかサービスを経て、  
当センターに登録、10  
年になるベテラン。現在、  
2件の家事援助を就業中で  
70歳を過ぎているとはとて  
も思えません。仕事内容は  
週1日、90代の女性の自宅  
の清掃・草むしり・雑用と、  
週2日、70代の男性宅の買  
い物代行です。

90代の女性宅は居心地よ  
く、おしゃべりも弾むとい  
います。色々な人がいて波  
長が合う人とはコミュニ  
ケーションがスムーズに行  
くそうです。相手が男性  
の場合、少し難しい面を感  
じることもあるといいま  
す。「現在、買い物代行な  
どの家事援助は、ほとんど  
が女性の仕事。重い荷物を  
運んだり話し相手になるの



就業宅で草取りをする勝野会員

は案外同じ男性の方が向い  
ているのでは」とは勝野会  
員の実感。「でも、どんな  
方でも、お手伝いをして喜  
んでいただけるのが一番う  
れしいですね」。

英会話と着物が趣味

勝野会員は大学の英文科  
卒業で、子育て中は自宅で英  
会話教室を開いていまし  
た。講師にイギリス・アメ  
リカ・オーストラリア等の  
外国の方を迎えて一緒に学  
んだそうです。昨年からは  
まった当センターの「中高  
年英語しゃべり隊事業」に  
参加、東京オリンピックを  
見据えた英語での外国の方  
のおもてなし方法等を受講  
中です。

日本舞踊の経験があり、  
着物が趣味、といっても着  
付けに関してはプロ。お正  
月や成人式には仕事として  
大忙しになるそうです。そ  
のためにも現在も月に2回  
は着付けを習いに行き、自  
宅での練習を欠かしません。  
着物はいつも着ていないと  
勘が狂うそうです。着物の  
魅力は、日本人の体形に合  
うし女性を美しく見せてく  
れること。特に姿勢には気  
を付けているそうで、正座  
が得意というのもうなずけ  
ます。



和装専用のマネキンで  
着付けの練習をする勝野会員

# みんなの写真館



## ボウリング大会開く

— 柏ゆずりは会 —

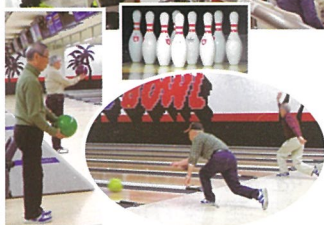


衛官、現在週4日車検を受けるお仕事をしています。「初めてゆずりは会に参加。久しぶりのボウリングで、とても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。一同元気な笑い声に溢れたひとときを過ごしました。

←優勝した山次さんとそのフォーム



「柏ゆずりは会」（坂内マサ子代表）のボウリング大会が3月13日(木)柏駅前ドン・キホーテ5階のヤングボウルで開かれ、26名が参加しました。いつものようにラジオ体操で体をほぐし、ボウリングが始まりました。ストライクが出るたびオーと声が上ががり、拍手とハイタッチする姿が見られました。2ゲームを競った結果、優勝したのは田中地区・山次省治郎さん（合計308点、準優勝は富勢地区・曾我部武さん、3位には土地区・小出律雄さんと富勢地区・福原重行さん。試合後の食事で表彰式を行いました。優勝した山次さんは、元自



次回の「柏ゆずりは会」は、5月16日(木)に市内花野井の旧吉田家住宅歴史公園見学と板前料理川久で食事をします。会費1500円。申込は「柏ゆずりは会」代表・坂内まで。  
**申込期間 4月23日～30日**  
 ☎090-16568-12836

### 地域班活動

#### ● 柏西地区豊四季班

柏西地区豊四季班（中家班長）は2月23日(出)新富近隣センターで班会議を開催しました。会員14名と月川会長、伊藤地区長、鳴海理事、入野理事など関係者が参加しました。



各自、就業先や趣味などの自己紹介の後、センターの方向性への質問に対して月川会長は、「組織・土台をもつと大きくしていきたい。高齢者の活躍の場として知って頂くためにもセンターのPRをし、失敗を恐れず社会変化に対応したい」と述べました。「いつも気持ちよく沢山の方々に参加いただいていたうれしい限り。出欠の有無の電話をした時、参加できない方には声を聴けただけでもよかったわと伝えます」という中家班長の会員への心遣いには感心させられました。

### 地域班活動

#### ● 土地区全体懇親会

土地区（森地区長）は2月23日(出)リフレッシュプラザで講演会と全体懇親会を開き、会員39名が参加しました。初めに柏市南部地域包括支援センターの塚本順子保健師による「食と健康講座ー元気で働き続けるためにー」が開かれました。栄養・運動・社会との関わりが大切だとして筋力低下予防のため、「口コミ予防体操「かしわロコトロー」」を全員で実施、その後片岡理事の報告、意見交換などが行われました。

## シルバー学び隊

### 「中高年英語しゃべり隊」 — 好評継続中 —

2月8日(金)アミューゼ柏会議室Bで、シルバー学び隊「中高年英語しゃべり隊」9回目の講座(2期目)が行われ11名の会員と6名の講師(会員)が参加しました。

講師の勝俣会員による「外国人おもてなし語学ボランティア講座」では、あいさつや発音、ジェスチャー等について学びました。

東京オリンピックやラグビーワールドカップの柏市に關係する情報提供などの後、3チームに分かれボイストレーニング(自由会話)を行いました。講師中心に日本語・英語を交互に駆使しながら、楽しくコミュニケーションしました。第3期目も継続の予定で、合い間に外国人のゲストも招待するそうです。



### 救急救命技能講習

1月18日(金)、柏市中央体育館剣道場で日本赤十字の協力で「救急救命技能講習」が行われ、会員26名が参加しました。応急手当の方法を学んだり心臓蘇生とAEDの使用方法を一人ずつ実践しました。



地域班活動

●柏西地区 (伊藤地区長)  
①千葉大「植物工場」見学会

2月20日(水)、柏西地区の会員13名が参加して、千葉大柏の葉キャンパス内の「植物工場」を見学しました。農家人口減少と高齢化の中、野菜を安定的に周年生産するのを目的に、環境にも配慮された画期的な植物工場です。



水耕栽培工場で→

千葉大環境健康フィールド科学センターの石井さんの案内で、まず最初に人工光(LED)を利用した水耕栽培の小松菜、レタス等の天候に左右されない計画生産現場を見学。実際にコンビニなどにも供給されている野菜もあり世界中から



視察がやってきていているのと。次に太陽光で栽培しているトマト工場へ。選果・出荷棟施設や人工的な苗テラス・発芽施設なども備わり、各企業が様々な形で参入し、さらながら未来の植物工場そのものでした。お土産に美味しいトマトをいただきました。

②「老人ホームの選び方」の講演会開く

柏西地区は3月16日(出)、豊四季台近隣センターで、谷口会員による「老人ホーム選びのポイント」と題する講演会を開催し会員17名が参加。

老人ホーム探しのキーポイントは看取りと認知対応にあるとし、実体験を交えながら、施設の選び方、入る際の心構え、施設の費用、国の施策に至るまで幅広いお話でした。参加者は介護問題を自分のこととして真剣に考え、学んできなくてはと感想を述べました。

地域班活動

●富勢地区 (曾我部地区長)  
旧吉田家で

ももんちゃん撮影会

富勢地区(曾我部地区長)は2月28日(水)、旧吉田家住宅歴史公園において女性班会を開き10名が参加しました。同邸にて就業する坂内班長の発

地域班活動 ●柏東地区 (遠藤地区長)

常盤台班がHPを制作しました!

柏東地区常盤台班(左部班長)が班活動では初めてのHPを制作しました。班会議への出席者数が少ない現状の中、会員参加型のネット交流広場があってもいいのではと、上田会員(パソコン班)が中心となり、昨年10月からHPのサイトを開設中です。

内容は、会員が班会議の出欠、近況、就業状況、センターへの要望などをインターネット上で入力し、その情報が当人と班長・副班長に送信され、保存されます。また班専用のメールグループを作り、アドレスを登録することで班長・副班長から会員への連絡事項を伝えることができ、写真や動画も掲載することができます。将来的にもいろいろな可能性を秘めた画期的な取り組みです。運営は簡単だそうですので興味を持った班の会員は是非、事務局までご連絡ください。常盤台班のHPは下記の通り。

<https://sites.google.com/view/tokiwadaihan/>



ももんちゃん

案で邸前を散歩するももんちゃんのかわいらしさに惚れこみ旧吉田家見学&撮影会を開いたもの。 会になりました。 生憎の雨模様だったものの元気がいっぱい愛らしいももんちゃんにー

ガイドの岡村会員の当セーターの理事)の案内で邸内を見学し、写真撮影を行いました。



みんなの写真館

シルバー学び隊

スタパ相談会開催中

スマホ、タブレット、パソコンのお悩み相談「スタパ相談会」が毎月第4月曜日(10時~16時)に開催されています。窪田会員がスマホ等の操作方法はじめ疑問や相談に応じています。



300円、4月は22日、5月は27日に予定しています。

安全標語最優秀賞に

猿子みどり会員の作品

2019年度柏市シルバー人材センター安全標語最優秀作品に富勢地区・猿子みどり会員の作品《もう一度初心に戻って 安全確認》が選ばれました。優秀賞は柏西地区・南波武会員。佳作は田中地区・河村那夫会員。

# 【事務局からのお知らせ】

## 事業実施状況報告（2月末）

		平成30年	平成31年
会員数（人）	男	1,387	1,413
	女	442	470
	合計	1,829	1,883
就業実人員（人）		1,296	1,447
就 業 率（%）		70.9	76.8
受注件数	公共	43	53
	民間	3,542	3,618
契約金額（千円）		656,036	659,886

## 就業日報の提出

当センター事務局（平日9～17時）とパレット柏（平日13～16時、柏駅東口徒歩3分 Day Oneタワー3階）で受け付けています。毎月の最終就業後になるべく早く提出してください。提出の際は会員氏名、就業先の記入漏れ、計算違いに気を付けましょう。また継続就業中でも季節によって当月中に一度も就業がない場合は事務局へご連絡ください。

## ● 新人職員紹介 ●

よろしくお願ひいたします



《ジョブコーディネーター》  
古賀知美さん  
（北部担当）



《ジョブコーディネーター》  
富岡茂樹さん  
（南部担当）



《駐輪場担当》  
村瀬忠清さん



《駐輪場担当》  
佐々木正博さん

## 配分金支払日

3月分 4月25日(木)  
4月分 5月27日(月)  
5月分 6月25日(火)

▼毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

## ゆずりはクイズ Part39

- Q1、安全の記事で、事故全体の44%を占めているのは、どんな会員ですか？
- Q2、HPを制作した柏東地区の班の名前は？
- Q3、2019年度の最優秀安全標語は何ですか？

☆ヒント：1頁、2頁、7頁

◎答をハガキに書いて事務局にお送りください。締め切りは5月24日(金)です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。  
会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ゆずりはクイズ Part38 の正解

- Q1の答：2回目
  - Q2の答：ウガンダ
  - Q3の答：14年
- 応募数 26 通、うち正解者数 25 通でした。

## センター緊急連絡先 080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に応答します。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。事故・ケガの場合のみの緊急連絡先となっています。



## 〈編集後記〉

新年度になり、新元号も令和に決まり新たな時代の始まりです。私的なことですが、先日関わりのあるグループの一員として東大研研究室からの依頼でGBERというのに参加。これはウオッチを手首に付け日常生活や健康をアイフォンで管理するもの。自分の行動や運動量がデータ化され貴重な体験をしました

◆このシステムを提唱する東大・檜山講師はシルバー人材センターでも、いずれ地域の求人がスマホ等で簡単に探せる時代になる、とその著書で述べています

◆ずっと先のこともかもしれないしすぐにやってくるかもしれない。時代の変化に伴い、先を見越しつつ柔軟な対応力を身につけたいもの

◆柏東地区常盤台班でもHP作りが始まり、少しずつでも変化の波を起こしていくのは素晴らしいことですね！

(Y)

